

概要：

立山積雪深動画の処理には、個々の動画のタイムラプスを利用することにより、スムーズな映像を得ることが出来、積雪深の比較も容易になった。この手法を解説する。

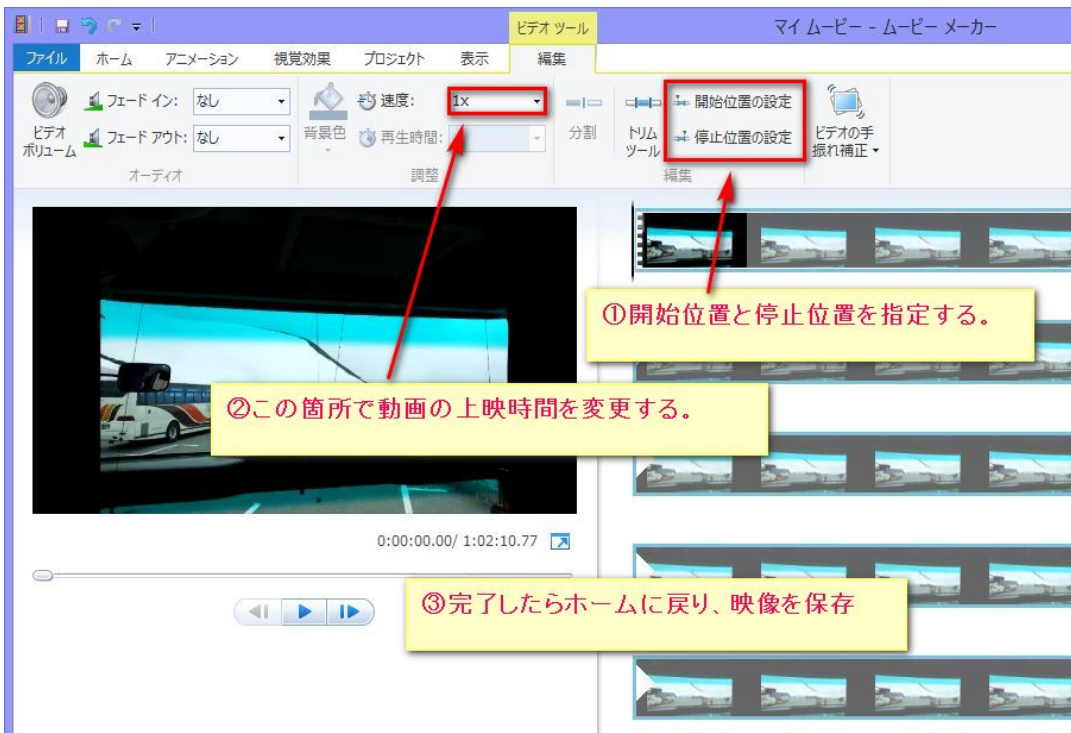
例として、弥陀ヶ原から雪の大谷の区間の動画を選択し、時系列でどのような変化がみられるのかを比較してみました。

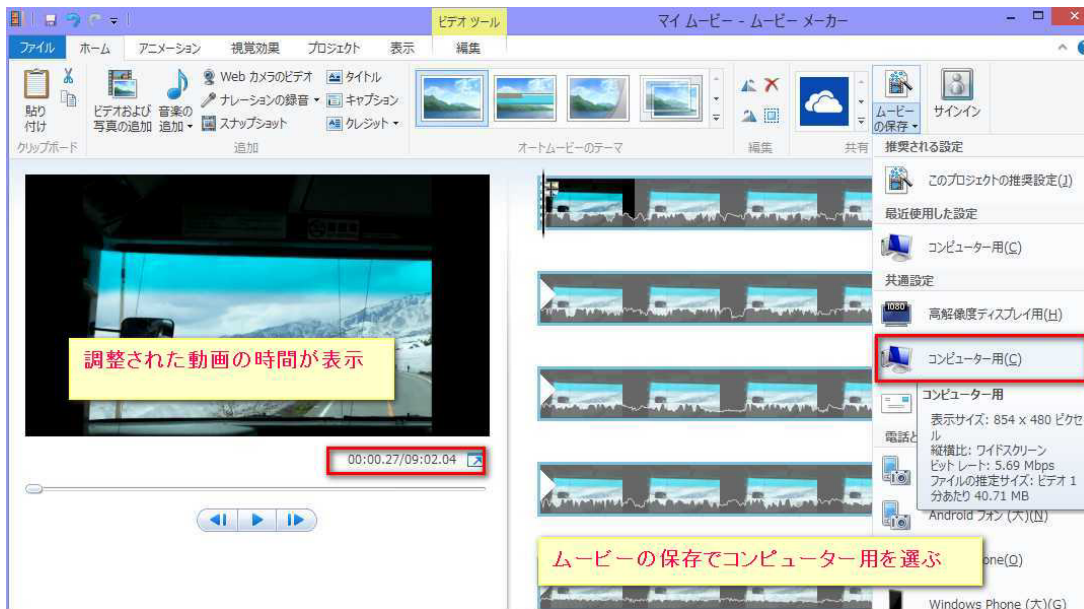
手順：

1. 動画の点検：車両はこれらの区間をほぼ一定の速度で運転をし、バスと自家用車では若干速度が異なるが、これは、タイムラプスを利用して修正することが出来る。
2. 走行区間内での一時停止の管理を行う必要がある。特に高原バスの場合は、天狗の鼻、ソーメン滝展望台、天狗平バス停などでは、映像によって 20 秒から 30 秒停止している場合があるので、この区間を切り取り再度結合させた映像を処理する必要がある。
3. 基本となる映像は 14 分前後(弥陀ヶ原から雪の大谷手前)となっているので、精度を高めるために、Windows Movie Maker を利用しタイムラプスを設定する。本ソフトの編集画面で速度の設定を行うことにより、14 : 02 分の動画を生成することが出来る。
4. 映像の時間が一定になった異なる画像を同時に動画キャプチャーすることで、新たな動画を生成することが出来た。見本は以下のサイトに保存した

注：5 月 20 日の動画（弥陀ヶ原から雪の大谷）は途中で二回停車（対向車待ち及びソーメン滝展望台）しているので、これを調整した動画を再編集したものを利用した。

参考図：





5. 出力した動画を Mellow Multi Player に複数の動画を設定しスタートすると同時に AGDRecorder を使って映像キャプチャーをする。
6. 完成した動画を YouTube にアップロードすれば、容易にウェブサイトの組み込みが出来る。